



佐藤成生 (59回)



本 本 村 長 片 加 小 河 江 王 渡 田 阿 小 村 星 鈴 坂 平 高 小 佐 山 小 上 工 佐 本 富 加 安 本 加 鳥 小 鎌 小 奥
 間 間 山 沢 岡 藤 池 野 部 会 林 部 山 田 野 木 本 山 島 藤 藤 田 林 林 藤 藤 間 樫 賀 野 間 藤 海 花 田 野 田
 敦 梨 重 勝 嘉 信 金 憲 一 と 伸 静 勝 光 祐 啓 雅 和 敬 正文 有 元 吉 喜 文
 子 江 聡 喜 規 明 悟 晃 夫 城 宏 治 彦 子 敏 茂 夫 誠 夫 平 雄 一 悟 二 治 子 敏 士 秀 紀 祐 緒 晴 彦 子 洋 夫
 (107)(105)(96)(90)(96)(87)(86)(85)(83)(81)(80)(79)(78)(77)(77)(76)(75)(74)(73)(73)(72)(71)(71)(70)(70)(69)(68)(67)(66)(66)(65)(64)(64)(63)(63)(62)

十年ごとに総会の実行委員を務めるの制度になつて、ほとんど四十三才、五十三才と六十三才の年に委員が回つてくることになった。その六十三才の今回のメンバーが63回卒と巡り合わせも面白い。

このやうな組み合わせは、二十年前に53回卒の人たちが五十三才で当るはずだが、その当時は現在の年次担当システムにはなつていなかったらう。次は73回卒の人たちが七十三才になったときにめぐってくるが、さて、それまで皆さんお元気で現役をはつていられるかどうか、という訳で、63の組み合わせが唯一最後か。

その63回と73回が中心の実行委員会。会場の選定から議論が巻き起こつたが、どうやら晴れて日比谷進出を果たした。

会報の方は、新しい世紀に向けて、新機軸をと思ひ込んでみたものの、時間に追われ、編集担当の実力不足もあつて、意気込みほどの出来には届かなかつた様子。

それでも、とにかく読まれる会報にと寄稿者には無理にお願いした結果、これまでとは一味違ったものができたかなという実感はある。ちなみに「翔べ」と「と」は読まないのではとの異論が出たが、国語学的にはそれが正しい。しかし編集者の強い要請で慣用語に近しいものとしてあえて、「とべ」の読みにした。

貴重な原稿を寄せてくださった方々と、広告出稿にご協力を頂いた方々に心からお礼を申し上げたい。

最後に、寄稿者のおひとり、平石さんには原稿を頂戴した直後に「母堂の訃報に接した心から」哀悼をお祈り申し上げる。(K, S.)

佐藤成生(59期)
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-11-10(コハラビル4階)
TEL 03(3292)7411 FAX 03(3292)7420



は、鶴岡市と酒田市の真ん中三川町



をキープしながら所帯数が増える傾

向(2)大型量販

店が続々と

郊外に進出

してくる。

(最近の事例で

第31回東京鶴翔同窓会

総会によせて

鶴翔同窓会会長

笹原 信一郎

首都圏東京方面でご活躍の会員の諸兄姉、今年も総会のシーズンが廻って参りました。

回を重ねられ三十一回とのこと、つくづく星霜を感じます。今年は帝國ホテルが会場だそうでご盛会を心からお喜び申しあげる次第でございます。

郷土鶴岡の現況を「報告いたしましう。全国的に中小都市（人口10万人前後の都市）の中心街区が衰微し、いわゆる「町おこし」といわれる運動がひろがっています。具体的に鶴岡で言うところ銀座商店街などに人の賑いが見られないということです。いわゆる都市のスプリング現象といわれるものです。一々理由は言うまでもありませんが（核家族化により、新しい住居が中心市街地から郊外へ拡散している。（鶴岡市の人口は10万人

に今夏にジャスコが32千㎡の東北一の大設備を出店計画中(③東京のよいうなJ・R・地下鉄・バスなどの公共的交通ネットワークが当地域では弱いの で必然的に個人のモータリゼーションに拍車がかかり、若い年代の方 は中心市街地より郊外へ向かう。(4) 中心市街地は旧体然とした店売り商 法でお客をひきつけるキメ手に欠け る、等々30~40年前あれ程股販をさ わめた商店街がひっそりとなつて人 通りもまばらという状態であります。 先日千葉幕張の「カルフル」を見ま したが、ブリュッセルやアムステル ダムのいわゆるハイパワー店の雰囲気を感じました。ヨーロッパモード が充ち充ちているということです。 若い人々がこういうモードに引つ張 られて旧中心街地はますます空洞化 することになります。

20年くらい前ヨーロッパの都市を 若干見たことがあります、あの当 時は例えばチューリッヒ・ジュネーヴ あたりは市電の通っているメインス トリートから離れたところに旧市街 というのが中世時代のまま保存され ている状況を見ました。要するに金

をかけてでも古いものを残そうとしているのです。其の後、あいつた街はどうなっているのだろうか。日本の場合、都市再開発と称して古い街を壊して白いコンクリート造りの効率的な街造りに邁進してきたのではないかと思えてなりません。

鶴岡では街おこし政策としてシビック・コアと称して大きい施設を郊外に拡散させないようにしている。(経済原則に従えば、郊外の方がエコノミーであるが具体的に今は春発足する慶応義塾大先端生命科学研究所、公益文科大学・大学院の二つは市営球場跡(旧白間堀)。市立庄内病院はNHKそばの旧今間製作所跡へと。そして庄内病院跡地には鶴岡にしては若干高層の合同庁舎的なものを建設する構想と聞いています。要は、街の賑いをキープするために人を集める力のあるハードを拡散させないというのがシビック・コア構想であります。

「地方の時代」と言われている中で、苦闘する10万都市鶴岡市の近況をご報告致しました。各位のご意見があればお聞かせ下さい。東京鶴翔同窓会のご盛会を心からお祈りいたします。

最後に、皆様のご健勝をお祈りします。



庄内の歴史と民俗をたずねて—
財団法人 致道博物館
〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
TEL 0235-22-1199



月山・羽黒山・湯殿山
出羽三山神社
山形県東田川郡羽黒町手向7
電話 0235(62)2355 鈞
FAX 0235(62)2352

鶴岡市市議会議員
佐藤 慶子 (61回卒)

事務局 鶴岡市若葉町15-38
自 宅 TEL・FAX 0235-22-1581

「世紀を越えた！」

遂に世紀を越えました。東京鶴翔同窓会も私も！私は、会長に就任したときに、「二世紀にまたがる会長になりたい」と大きな事を申し上げましたが、会員の皆様からブーイングも起こらず（本人に聞こえないだけ）私の体力も気力も衰えることなく、望み通り世紀を越えることができました。

これは、ひとえに会員の皆様のご協力のおかげです。各年の実行委員の頭の下がるご努力によって、総会の出席者は年々増加し、若い会員も徐々に増えてきました。新世紀に入つた今、さらなる飛躍を目指して皆様と一緒に頑張っていきたいと思つております。

だ！とはしゃいでみて、このドヨ
 ツとよんだ閉塞感はどうしたこと
 でしょ。政治も経済も世紀末的
 な状況です。
 これでは、
 新世紀への
 明るい展望
 を抱くことが
 できません。このような暗い気持ち



これでは、
新世紀への
明るい展望
を抱くことが

に追い討ちをかけるように、私は先日、コンピュータ・ウィルスの被害を受けました。それに気付かず友人にも被害を広げてしまいました。不特定多数の人々を困らせて、ほくそえんでいるであろうウィルス・メーカーの存在、固くガードされているはずのシステムに忍び寄るハッカーの暗躍、果てはサイバーテロの恐怖……バラ色に見えるIT革命の裏に潜むこのような暗黒を思うと、気分は益々沈んでしまいます。

ここで、目を転じましょう。

月山、羽黒山、湯殿山、最上川、日本海の落日、庄内平野、孟宗汁、寒鰯汁、だだちや豆、ハタハタ……。藤沢周平が小説やエッセイの随所で披露したお国自慢です。彼は、庄内に生まれ庄内で育つたことをとても誇りにしているようです。エッセイ集『ふるさとへ廻る六部』の中で、彼は次のように言っています。「……この大量のふるさと礼賛めいたエッセイは、いったいどこから生まれたのだらうか。そう問われたとき、まならは私は、それはアイデンティティというもののなせるわざだった



ろうと答えることが出来るように思う。」

東京鶴舞同窓会の皆様、藤沢周平のお国自慢は、そのまま私達のお国自慢ではありませんか。私達のアイデンティティもそこにあるのではないのでしょうか。ふるさと「庄内」は私達の共有財産ではありませんか。これだけでも、私達は年に一回は会って話すべきです！ふるさとのお酒を飲むべきです！乾いていくころろに、ひとときのお湿りを与えるためにも！

六月十六日(土)、正午、帝国ホテル・光の間でお会いしましょう。

<p>山形県 善宝寺 鶴岡市大字下川</p> <p>住職 斎藤信義(昭12卒)</p> <p>TEL 鶴岡(0235)33-3303(代表)</p>	<p>郷土庄内のニュースを満載! 庄内日報</p> <p>庄内唯一の日刊紙</p> <p>本社/〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-29 ☎(0235)22-1480代 東京支局/〒272-0805 千葉県市川市大野町1-383-10 ☎(047)337-6568</p>
--	---



庄内人は謙謙
の美德を有して、人を押しのけ

東京鶴翔同窓会第三代会長で、文化勲章受賞者、独文学博士の相良守峯先生の著書「茫々たる歳月」の巻頭に「私の郷里鶴岡は、金峰山から眺望すると鶴が翔いているように見えるところ、それが地名の由来らしい」とある。私も小学校の学校行事で、早朝四時に出発して、谷定から金峰へ登り、始業前に帰校する朝登山があった。金峰の頂上近くに雑樹から視界が開けて、鶴岡市街が一望できるところがある。担任の先生から「ほら、鶴が飛んでいるように見えるだろ」と云われ、「なるほど、これで鶴の岡、鶴岡なのだ」と納得した記憶がある。

今は市街が伸びに伸び、近隣の町村にくっついてしまっている。一体何の形に見えるであろうか。何も翔いてはいないのではなからうか。

そこで、庄内人よ翔け、もっと高く跳べ、飛躍しよう、の期待を込めて、今回の総会のテーマがまとまつた。とかくた。とかく偶さか手にした帝国ホテル開業百

とんでこばえちや

帝国ホテルへ 鎌田 喜子

第31回東京鶴翔同窓会
総会実行委員長

ない「どうもお先に」の方が居心地がよい人柄である。
新世紀初の東京鶴翔同窓会であり、文字通り同窓生が、未来永劫大空へ、新世紀に翔いてほしい！と願ってやまない。

第七代現東京鶴翔同窓会長、桜井文ちゃん、初の女性会長である。私も同期の誇りとしている。国の施策も男女均等参画推進を企て、二十一世紀は女がつくる時代などと云われている今、私も文ちゃんの力を拝借して実行委員長を、少しばかりとんで受けた次第である。

昨年の総会テーマ「二十一世紀になげよう鶴翔のきずな」を受け継いで、さあ二十一世紀になった、何を

つなげればよいのかと思案する。昨年は何年か続けた会場、平河町海運倶楽部を抜け出して池袋のサンシャインとの案内に少々意表を突かれた思いだった。そうだ、新しい世紀に相応しい会場はないかと。新世紀とは言え同窓会は懐古を旨とする

ごあいさつ

鶴岡南高等学校・校長
佐藤 英治

会員の皆様には、お変わりなく、清栄のことと存じます。日頃、母校、鶴岡南高等学校に對しまして、何かとご支援・ご協力をいただいております。ことに、厚く感謝を申し上げます。

春は学校にとり、何かと大きな行事のある季節です。二十世紀を締めくくる最後の卒業式では、全日制二百三十六名、通信制三十六名の卒業生が元気に巣立っていきました。

今や明治二十一年の創立以来、百十二年間の卒業生数は、全日制で二万七千七百七名、定時制に千六百九十四名既に閉課程、通信生八百四十名余となり、合計では二万五千名(物故者含む)を超えております。その時代時代の社会の影響を色濃く受けながら、地域の中心の進学校としての役割は少しも変わらず、また地域の優秀な中学生の進学が目撃校でありつづけております。今後とも伝統



ら、時代の変化に柔軟に対応した
学校経営を心
がけてまいりたいと思っております。

今年度卒業生の進路の特徴(現浪含む)は、国公立大では、山形大学医学部、東北大学、新潟大学、山形大学等の東北地区の大学進学者の割合が多く、合計百十三名、私立大は早稲田大学、慶應義塾大学はじめ各大学への分散化傾向が強く百五十六名が合格いたしました。今春、酒田に開学しました「東北公益文化大学」には六名合格しております。一方新入学生は、二百四十名を迎えることができました。少子化の影響か定員割れの学校が多く出ているなかで、本校は定員を割ることもなく、特に今年度から普通科に推薦制度を導入し、約一割(二十名)程度の優秀な生徒が、この制度で入学いたしました。これまでの追跡調査によりますと、中学校の学習等の状況と高校生活の相関が高いことが判明しておりますだけに、大きな期待をしているところで

す。部活動は、期待の音楽部が東北大会で惜敗し、全国大会にコマを進めることができませんでした。直後から捲土重来を期して猛練習に明け暮れております。部顧問も今年は期待で

きると張り切っております。

現在、学校ではよき伝統と校風を守りながら、社会と生徒のニーズの変化に的確に対応できるよう、教育課程、職員体制、授業時間などの見直しと学校改革をすすめているところであります。

今後とも同窓生各位の変わらぬご支援をお願いいたします。

ホットな情報・四季の味覚の配達人

鶴岡江戸屋敷

鶴岡市東京事務所

〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7

TEL 03-5696-6821

FAX 03-5696-6822



企業誘致にご協力を!

豊かな自然とすぐれた人材に恵まれたつるおか。そこには、多くの工場(企業)適地があります。いま、鶴岡に立地される企業を求めています。首都圏でご活躍されている方々のご紹介、また、地方への企業進出の話がありましたら情報をお寄せください。

鶴岡市東京事務所 電話03-5696-6821 まで

いつも もっと おいしい日本酒へと

SINCE 1778



栄光富士

富士酒造株式会社

〒997-1124 山形県鶴岡市大山3-32-48

友と心なごむ一杯

清酒 奥羽白慢

榊引町 佐藤仁左衛門酒造場

こりうま 古里の美酒



羽黒町 竹の露合資会社

酒業370年
出羽路に酒あり



出羽ノ雪酒造資料館

■伝統美酒

出羽雪

株式会社 渡會本店

山形県鶴岡市大山二丁目2番8号

☎ (0235) 33-3262

手造りの味
つけもの処 本長



〒997-1124

山形県鶴岡市大山1-7-7

☎ 0120-330-878

FAX 0235-33-0878

http://www.k-honcho.co.jp

酒造資料館あります
映画上映・試飲コーナーなど

酒王 初孫

東北銘醸株式会社

酒田市大字十里塚字村東山125番地の3
TEL 0234(31)1515 FAX 0234(31)5588
URL http://hatsumago.co.jp



〒997-1124

加藤嘉八郎酒造株式会社

山形県鶴岡市大山三丁目1-38 TEL 0235(33)2008

十年前の東京鶴翔同窓会には、ゲストに戦時中湯の浜に疎開して庄内と縁のある落語家橋家田蔵師匠を招き、小生が司会をして進行しましたが、あつという間に十年がたつてしまいました。その間会長には六十三回卒業の桜井文子さんがなつて一挙に若返り、しかも女性初の会長ということで期待しております。

五十三回の卒業は昭和二十年、敗戦の年で、四年生も五年生も一緒に繰り上げ卒業と言う戦争の末期的状況の時代でした。戦争に敗けて米軍が進駐してきて、廃墟から立ち直るのに四、五年かかりましたが、食べるのも少なく仲々大変な時代でした。旧制鶴岡中学を卒業してから五十年経つて、初めてクラスの同窓会誌を2000年に発行しましたが、一年以上かかって情熱を注いで作った会報だけに立派なものが出来て、ク

あつという間の十年間

21回総会実行委員からの手紙



成田辰美 (第53回)

にお渡しすると申してましたから。」と答えてくれたそう。すると、Yさんは「それじゃ、私の机はこの部屋です」と言つて、部屋番号をメモして渡してくれたという。そう伝え

て家内は笑いこけてしまった。……この話の面白さ、お分かりいただけますか？Yさんは、物凄く生真面目な数学科博士課程の学生さんなんですよ。

ラスメイトに感謝されました。誌名は「ばんけ」です。

これを機会にクラスメイトの連帯感がぐつと深まつて、ときどき「ばんけの会」を開いたり、「ばんけ通信」を発行しております。今年「ばんけ二号」が発行される予定で、いま編集校正中ですが、古希を過ぎた旧友達はいつも若々しく旧交を温めているこの頃です。

今年の東京鶴翔同窓会の総会は、五十三回組は後輩の若い人たちに一切を任せましたが、六月の十六日に帝国ホテルで盛大に催されると聞き大いに期待しております。どんな内容になるのか今から楽しみです。五十三回組で何かお役に立てることがありましたら指示して下さい。

祝 第31回 東京鶴翔同窓会 総会																					
皆様のお出でを お待ちしております 第三十一回東京鶴翔同窓会総会 実行委員会																					
会計部会				庶務部会				会報部会				会場部会				広告部会				委員長 鎌田 喜子 (63)	
加藤 金一 (63) 磯見 明子 (63) 外池 蓮子 (63)				大滝 恒雄 (63) 水原 邦保 (63) 本間 光二 (63) 富樫 稔 (63) 栗本 浩 (73)				諏訪 浩 (73) 荒田 盈一 (73) 平山 静夫 (73)				本間 隆 (63) 平田 宏 (63) 佐藤 靖夫 (63) 桜井喜久恵 (63) 五十嵐 丕 (73)				石塚知久美 (63) 榎本 亮 (63) 加藤 吉郎 (63) 吉田 隆一 (73) 渡辺 絃規 (73)					

郷土料理 「お昼食、ご用意しております。」

おばこ

大内 瞳 (酒田市出身)

東京都中央区銀座1-4-10
大内ビル(実業之日本並び)
電話 03-3561-6466

旬の味 家庭料理の店 桜

桜井喜久恵 (63回)

鶴岡市本町1-6-32 (川端通り、木根測医院隣)
TEL: 0235-25-3688
定休日: 日曜・祝祭日

みちのくの旬の味

山 寒

さんさい

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-3
電話 03-3357-3031 FAX 03-3358-7944

和食とワインの店

陣 八

割烹 小田島 八 陣 (はちじん)

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-3
吉祥寺東急イン地下一階
TEL・FAX: 0422-47-7310

掃除機とカメラと チヨコレート

研究室からみたまじきの...



御橋廣眞 (第63回・名古屋在住)

先輩教授の掃除機
あれは、たしか金曜の午後だったかとおもう。先輩教授の研究室セミナー室と呼ばれた。

大きなテーブルの上には、手書きのメモ、読みかけの論文のコピー、それにジャーナルが何冊か乱雑に置かれていた。一週間分の研究室の溜まり場として機能したセミナー室なら、どこでも良く見かける情景である。問題は、床の上にたまった埃だった。ひと月分の埃らしかった。つまりかねた先輩教授が、立ち上がつて部屋の隅に立てかけてあった古い掃除機を取り出して、壁のコンセントにプラグを差し込んだ。スイッチを入れた途端、古い掃除機がうなり出したから、お喋りに夢中になっていた学生諸君も、先生の方に注目した。

ブルの下で自分の両足を上げた。つまり、自分が黙って掃除機を手にしたら、きつと誰かが替わってくれるものと信じていた老教授の願いは、この少年の風貌の学生にはとうじなかつたのだ。……いや、この童顔の学生君にとっては、先生の邪魔にならないように思いっきり両足を上げることが最高の心くばりだったのである。

あつちこつちと向いている椅子をどけて掃除機をかけたのは先生の姿に、誰か「替わります」という学生がいなかったかと思つたその時である。ちやうど教授の真横の椅子に座つていた生徒が、「先生、この机の下にもゴミ！」と言つたかとおもうと、チヨ

受験生のカメラ
大学入試初日の朝の、ピンと張り詰めた空気の中で受験生も試験官も一番緊張していた時間帯である。前列の男子学生が手を挙げたので、何事かと近寄り、小声で話せるように屈み込んだ私に、その受験生が訊ねた、「写真を撮つて良いですか？」と。思わず私は自分の耳を疑った。その怪訝そうな私の顔をみて、彼は「記念に試験場の写真を撮りたいんです」とつけ加え、足元の靴の中のカメラに手を掛けたのである。

「試験場マニニアル」には、ここに記載した以外のこと起きた場合は、試験官は独断を避け、速やかに監督

室に連絡し、試験場主任の判断を仰ぐこととあるのは承知していた。がしかし、もうこれは論外である。微かに笑いを含んで、軽く首を振った私に、彼は判りましたという表情をして言った。「じゃ、スミマセン。先生、シャッターを押してください」と。絶句すると同時に私は、マスコミ時代というのはこのことかと妙に醒めた気持ちで納得してしまった。もちろん、試験場主任に報告することとは考えもしなかった。

ホワイトデー
学位論文を指導しているYさんが、この二月十四日に、綺麗に包んだチヨコレートを呉れた。もちろん女生徒である(当たり前だ!)。ところが三月十四日のホワイトデーにお返しを渡しそこなつてしまい、結局、三月十六日の退官記念パーティーになつてしまった。

当日パーティーに同席した家内が、出席してくれた学生諸君全員に感謝の意を表して、普通のチヨコレート(?)を手渡した。Yさんにも。しばらくしてYさんが家内に、「先程のはバレンタインデーのお返しでしょうか?」と訊ねてきたそうである。家内には前日に事情を話してあったので、「いいえ、それは主人が直接、あなた

手打ち蕎麦 炭火焼料理

大松屋

大松屋本店 TEL.03(3571)7053
大松屋 大塚 TEL.03(3574)4200
大松屋 池袋 TEL.03(3571)8588

登壇銘菓 銘菓

古鏡 マロン

つるおか菓子処

山形県鶴岡市山王町9番25号
TEL 0235(22)4530
FAX 0235(22)4538

お昼の一品

会長 佐藤勇三 (昭14・47回)

田村町店 二丁目大村ビル 電話3580-0826
新橋店 上ービル地下 電話3580-6693
銀座店 銀座和光裏 電話3567-3355-7
日本橋店 ツムラビル地下 電話3275-2486
喫茶モン ツムラビル2F 電話3275-1697

ふるさとのお漬物

株式会社 佐 徳

おみやげやご漬物に、本造りのこだわりの味をどうぞ

〒997-0011 鶴岡市宝田2丁目9-79
TEL 0235-24-1180 FAX 0235-23-3564
HP <http://www.rakuten.co.jp/satoku/>

名だたる鶴岡南高を卒業、しかも、首都東京で活躍の方々で組織する東京鶴岡同窓会の会報に、原稿の依頼を受けた。当然、びびらざるを得ないし、忸怩たる思いである。

私達には、親を選ぶ自由がないように、当時(昭和九年)は、小学校の同級生を選ぶことなど、九十九パーセントあり得なかった。

そんな中、人間の心理、深層、自然界を表現できれば名人芸とうたわれた、直木賞作家藤沢周平先生と、尋常高等小学校八年間、同じ教室で過ごしたことは、今にして思えば誠に幸せであつたと考えている。

昭和九年四月、私達の同級生は男女六十二名、それまで一番多い組と云われた。二人並びの机が教室いっぱいに並べられ、勉強をし、喧嘩をし、みんなそれなりに頑張った。

落ちこぼれなど一人もいなかった。私達は、八年間で六人の先生から教えていただいた。入れ替り、立ち替りと云う感じだった。

保育園など勿論なく、入学式のと き、十人くらいは泣いて親から離れなかった時代である。緊張の連続で

ある。ちなみに一級下の組は、四年生まで同じ女の先生、五年生から四年間一人の男の先生、ぬるま湯みたいなものである。

藤沢周平先生も、五年生、六年生の時に担任であつた宮崎東龍先生からの影響が、自分の人格形成に大きな影響があつたと述べているので、ここで、私達と小学校の時の担任の先生との関わりを述べてみたい。

一年生と二年生は、女の先生であつた。大久保先生と云つて、師範出の若いキビシイ怖い先生であつた。その先生が、二年生のときにバスの火災事故で入院してしまった。(翌年お亡くなりになった。)当時受持ちを持たない先生は校長先生しかいなかった時代である。毎日、いや、毎時間、別々の先生がくることとなった。

三年生の担任は、難波力先生。体格の良い陸軍伍長で、青年学校の軍事教練の教官でもあつた。ここで奇縁をひとつ。いま鶴岡で、いや庄内で、藤沢文学研究の第一人者として活躍の、鶴岡工業高校の先生をしていらつしやる松田静子先生は、この難波先生の娘さんである。真に奇縁と云う外はない。難波先生は体格に似合わずやさしい先生であつた。

四年生の担任は、又変わって保科傳吉先生。年配でベテランの先生であつた。

五年生と六年生が、周平先生のエッセイに登場する宮崎東龍先生である。宮崎先生は、彌瀬持ちで怖い先生であつた。しかし、宮崎先生の受持ちだったからこそ、同級生六十二名、誰ひとりオチコボレもなく皆頑張つてこれだと思つてゐる。同級会で集まっても、忘れ得ぬ先生として話題にあがらぬ事はない。

春になれば山遊び(金峰山)、夏は水遊び(青竜寺川)、秋は栗拾い、冬は、グラウンドで雪合戦、他の級の生徒が羨んだ。真偽の程はわからぬが、先生は校長先生からオメダマをくれたらしい。その代わり、宿題は多かった。みんなが宿題をやつてくると先生は機嫌が良く、本を読んで聞かせた。それがどうしてか、周平先生はジャンバルジャンのレミゼラブルであり、私は、孫悟空が記憶に残っている。

そして、小学校六年間の総締め括りである一番大切な六年生の時に、担任の宮崎先生に召集令状が来た。又、入れ替り、立ち替りの授業が続くのである。

そして、二人(周平先生と僕)のドモリは、ますますひどくなった。

元気でつせ、 関西のおばちゃん



平石 玲
(第63回・宝塚市在住)

皆様こんにちは。お久しぶりです。神戸地震の折には皆様の暖かいお心に励まされ大変心強く思いました。本当に有難うございました。

五年ぶりに東京鶴岡同窓会へ参加できますこと、修学旅行を待つ高校生のように胸躍らせております。

私は昭和三十六年に大阪に住まいを持つ男性と結婚致しまして四十年。長くなりました。

皆様がご存知でしょうが、関西のおばちゃん、結構笑わまつせ。右左どちらを向いても日本国中不景気風の吹き荒れる中、一家に一台置いてみませんか。家の中明るうなりまつせ、ほんま。すっかりデジタルな世の中に、全くのアナログを気取って不器用に元氣良く六十三の日々を送っております。

元々高校生の頃からそんな芽はあつたらしく、同期の鎌田喜子ちゃん、外池蓮子ちゃんとトリオをくんで先生方を少々こずらせておりました、それが又楽しくひとつも態度を改めること無く、三年間真つ直ぐな青い時を過ごさせて頂きました。本当に有難うございました。

ふる里を離れて四十五年余り、目

覚しい文明の進歩に反比例して、私からふる里は遠くになるのです。何故かと言えば、空港ははるか和歌山の方に行つてしまひ、冬場を挟んだ半年間は便すら欠航してしまふ始末。昼の白鳥は三月で終了、私を直通でふる里に運んでくれる機関は、夜八時十七分大阪発の日本海3号しかなくなつてしまひました。

寝台車に揺られること十時間余り、やつと鶴岡の駅に降り立つた頃にはいきの良かった関西のおばちゃんも大分コレレレ状態になつております。東京の皆さん信じて頂けますか?

それでもふる里の山々は変わらず、母が悪く二月に帰省しました折にも、鳥海山も月山も頂きには真つ白な雪をかぶり姿形も氣高く凛として、私を迎えてくれました。身の引き締まる様な冷気の中で心の中はすつかり暖かくなりました。

騒々しく関西の地で生活しておりますが、宅配便が発達したお陰で一年を通して四季折々に、ふる里便が届けられます。お米をはじめ、サクランボ、庄内柿、ダダチャ豆、ハタハタの醤油漬、寒鰯まで雪の便りに乗つてやつてまいります。

こうして宝塚に住みながらも母や弟達のお陰で私のふる里の味を忘れることなく、息子達や孫達にも伝えながら、遠くの静かな町をいつまでも誇りに思つております。

関西も今まさに時は春! 奈良二月堂のお水取りの大輪の炎が、凍てつく闇の夜を焦がして春を呼び、その日を境にほんとに日一日と暖かくなるのです。京都は桜の名所、訪れる者までもピンクに染めてしまふ程咲き乱れます。今週末には関西中のそこそこは春の宴で賑やかになることでしょう。

小さくてもいい、良いことのひとつや二つとありそうな二十一世紀の幕開けです。熟年になつた私達もこれからは、いい夢を持ちましようか。関西のおばちゃんのようにデコボコ道のあるきながらも、ええことが、おもろいことがこの先にはきつときようさん落ちてるはずやから、見逃したらあきまへんで、つて。

過ごして来たよりはうんと短くなつてしまつたこれからの時間を、どう過ごすかは皆それぞれの問題なので、すから、気を抜かず頑張つてみましよう。

とにかく今一番の愉しみは帝國ホテルでの皆様との再会の日、元氣でお目にかかりましよう。六月十六日の宴はきつとすばらしい一日になることでしょう。期待してやみません。

■特別寄稿 先生列伝

藤沢周平といた学級



五十嵐久雄
前鶴岡市議会議長

ある。ちなみに一級下の組は、四年生まで同じ女の先生、五年生から四年間一人の男の先生、ぬるま湯みたいなものである。

藤沢周平先生も、五年生、六年生の時に担任であつた宮崎東龍先生からの影響が、自分の人格形成に大きな影響があつたと述べているので、ここで、私達と小学校の時の担任の先生との関わりを述べてみたい。

一年生と二年生は、女の先生であつた。大久保先生と云つて、師範出の若いキビシイ怖い先生であつた。その先生が、二年生のときにバスの火災事故で入院してしまった。(翌年お亡くなりになった。)当時受持ちを持たない先生は校長先生しかいなかった時代である。毎日、いや、毎時間、別々の先生がくることとなった。

三年生の担任は、難波力先生。体格の良い陸軍伍長で、青年学校の軍事教練の教官でもあつた。ここで奇縁をひとつ。いま鶴岡で、いや庄内で、藤沢文学研究の第一人者として活躍の、鶴岡工業高校の先生をしていらつしやる松田静子先生は、この難波先生の娘さんである。真に奇縁と云う外はない。難波先生は体格に似合わずやさしい先生であつた。

四年生の担任は、又変わって保科傳吉先生。年配でベテランの先生であつた。

五年生と六年生が、周平先生のエッセイに登場する宮崎東龍先生である。宮崎先生は、彌瀬持ちで怖い先生であつた。しかし、宮崎先生の受持ちだったからこそ、同級生六十二名、誰ひとりオチコボレもなく皆頑張つてこれだと思つてゐる。同級会で集まっても、忘れ得ぬ先生として話題にあがらぬ事はない。

春になれば山遊び(金峰山)、夏は水遊び(青竜寺川)、秋は栗拾い、冬は、グラウンドで雪合戦、他の級の生徒が羨んだ。真偽の程はわからぬが、先生は校長先生からオメダマをくれたらしい。その代わり、宿題は多かった。みんなが宿題をやつてくると先生は機嫌が良く、本を読んで聞かせた。それがどうしてか、周平先生はジャンバルジャンのレミゼラブルであり、私は、孫悟空が記憶に残っている。

そして、小学校六年間の総締め括りである一番大切な六年生の時に、担任の宮崎先生に召集令状が来た。又、入れ替り、立ち替りの授業が続くのである。

そして、二人(周平先生と僕)のドモリは、ますますひどくなった。

<p align="center">寺尾 歯科 医院</p> <p align="center">院長 寺尾 萬里子 (69回卒)</p> <p align="center">〒999-7204 山形県西田川郡温海町大字湯温海甲228 TEL (0235) 43-2039 FAX (0235) 43-3388</p>	
<p align="center">眼科・小児科 福原 医院</p> <p align="center">院長 福原 昭平 福原 美和子 (83回) 福原 晶子</p> <p align="center">〒997-0034 山形県鶴岡市本町2-2-45 TEL (0235) 22-7714 FAX (0235) 24-3556</p>	

<p align="center">中 里 医 院</p> <p align="center">医師 中 里 純 (75回)</p> <p align="center">〒997-1124 山形県鶴岡市大山2丁目23-5 TEL 0235(33)2142 FAX 0235(38)1010</p>	
<p align="center"></p> <p align="center">医療法人 なごみ会</p> <p align="center">三井病院</p> <p align="center">産婦人科 小児科</p> <p align="center">院長 三井 盾夫</p> <p align="center">鶴岡市本町一丁目4-44 〒997-0034 TEL 0235(22)3290(代) FAX 0235(22)3295 E-mail: fsn01414@net.sfsi.co.jp URL: http://www.net.sfsi.co.jp/mitsui/index.htm</p>	<p align="center"></p> <p align="center">MITSUI HOSPITAL</p>

<p align="center">胃腸科・外科・眼科・放射線科</p> <p align="center">冠 木 医 院</p> <p align="center">院長 冠木 徹彦 副院長 冠木 敦子 (68回卒)</p> <p align="center">〒360-0815 埼玉県熊谷市本町1-128(一番街) ☎ (0485) 21-1106</p>	
<p align="center">◇内 科</p> <p align="center">◇小児科</p> <p align="center">◇婦人科</p> <p align="center">◇皮膚科</p>	<p align="center">今 野 医 院</p> <p align="center">今 野 忠子 (59回卒) 今 野 茂 (63回卒) 今 野 敬 (長男)</p> <p align="center">埼玉県鴻巣市南7丁目27-15 TEL 048-282-5020 FAX 048-282-5020</p>

<p align="center">KINERUCHI HOSPITAL</p> <p align="center">木根淵外科胃腸科病院</p> <p align="center">院長 木根淵 光夫</p> <p align="center">茨城県岩井市辺田1430 TEL 0297-35-3131 FAX 0297-35-9792 E-mail yabukine@gama.or.jp www.gama.or.jp/~kine/</p>	
<p align="center">小 児 科</p> <p align="center">こどもクリニックすずき</p> <p align="center">鈴木 準 (73回) 鈴木 晶子</p> <p align="center">〒997-0022 鶴岡市切添町16-15 電話 (0235) 23-3288</p>	

昔から賭け事には弱いのに好きな性分、やはり「ラスベガス」のことを少し話してみたい。

米国の「今」を知るのに都合な都市はどこ？と質問されたら、迷わずラスベガスとこたえたい。カジノに興じる都市特有の退廃感も街の片隅にはある。しかしなによりも強烈な躍動感で成長していた九十年代の米国社会が、ラスベガスには投影されているように思う。

五千室という途方もない大きなホテルが満室？宿泊客は一人。それをフオーする従業員も一人必要

ラスベガスに思う

(第73回)

笹原 研

らしい。そこからギャンブルに客二、三万人。一つのホテルの中で毎日五万人近くの間人が右往左往しているのである。人の集まる野球やコンサートは、三、四時間で決着するが、カジノは二十四時間無休である。こんな感じの三千室以上の巨大ホテル群が軒を連ねているのが、砂漠にあるラスベガスである。カジノホテルに群がる何十万人は、チェックイン、ギャンブル、食事、シャワー、トイレ、駐車場等、なにもかも常に複合的に活動しているのだ。ギャンブルに投じられるキャッシュ

は、巨額と言う言葉では表現しきれない額だろう。キャッシュが動くのだから、当然ディーラーと客、客同士、客と見物人、と問題が多発する。しかしラスベガスは米国で今、最も安全な街とされている。既に街の人口が百万人を突破して久しい。いまだダイナミックに成長している。ところでなぜ米国は強いのだろうか？米国人は、語学的には人に嫌がられるくらい英語しかできないし、田舎丸出しの非国際人に見える。私自身は、庄内弁のネイティブでなまりを持ちながらも不自由なく標準語を使い、日本語アクセントは多少あるものの会話程度の英語ぐらいはこなせるから欧州人並に合計三ヶ国語を操ることになる。米国人よりよほどりっぱな国際人ではないか？でも何か

特集

昭和四十年代の半ば、円の第一次切り上げに始まる国際的な通貨調整は、その後の資本取引の自由化を通じて日本経済を海外へ向かわせる契機となった。

第七十三回生の多くは、この時期に社会に巣立ったが、それは同時に国際社会への一歩を踏み出すことでもあった。

としての命を享け感動に震え、飲むに浸っている。人を活かし人の幸の為に生きる業を以って自身精神昇華への礎と定め、大学で学べぬ知的飢餓感を探求心の起爆剤となし、限り無き試練と進展への道に立つ。私

は殻を脱したと晴れ晴れと宣し、父は頷いた。

公園の桜は四十七節散り、また咲き、お堀にその姿を浮かべた。家業の傘屋は世界に比し得る婦人フアツション店への挑戦已めず、他方、日

本国の威信回生と、スカラ―電磁波害告発の活動を、千余の学者研究者と共に世界に訴えて十年。

よき哉人生。よき哉鶴岡南高等学校。

活人剣

十七歳——翔びたつた日

森谷 栄太郎

(第63回 新潟市在住)

「栄太郎、——お前ど、話ししねまね。」我が家の泣く子の誰かが黙れた、明治の謹厳実直居士、世事百戦錬磨の手練たる父、四郎右衛門は眼光鋭く氣を漲らせ既に端座して言った。非謹言、親自由奔放を旨の母方の血のみ専らの南高二年早飯喰い海坂藩剣士は、近年親を凌駕せし背丈の一事を嵩の虚勢に力み、畏怖措くあたわぬ存在の前に弾けるようにし対座した。

より、身共は十歳の砌より家業の一翼を担い、その貢献たるや不出来の本職を凌ぐとの評を一身にして来たではないか。ウン。問題ナシ。晴れて士としての登用の暁には——。勝利確信の愉悅——。

隙が生じた。練達の士の豪剣は一閃。青成の剣士の増長心は両断されていた。

曰く、お前の進学資金は有る故、大学に行つていい。だがそれは中一、小五の第二人の進学の道を閉ざす事に連動する家計状況だ。親は子を皆等しく大切に思うし、世の宝として育成の義務を有する。人道上、兄弟の未来に懸かる断を親として降すに忍びず、濃密熟考の末、この裁断は長男に負託する以外に方途策なしと決定した。——。

封建的家父長絶対主義、上意下達こそ我が家の誉れなるに、話しとは異なる事ではないか。剛の者が放った手裏剣三筋に、対戦者の繰り出す次なる強襲に備え、若侍はその手の裡を計った。読みに読んだ。脳の隅々まで生まれて初めて血が走った。未使用の頭が割れそうになった時、手筋を総てを読み切った。ハハハ。成る程。親父は我が輩の大人昇格認定の儀を真剣試合を以ての肝だ。ならば楽勝。現に一族の元服儀式、出羽三山詣は二年前に了えたし、何

亦この際、四郎右衛門畢生の請いを明かせば、養父創業の大事な家業を自らの代で潰えとするは親不孝の極みであり耐え難い。お前を三代目と信じて慈しんで下さったジジハンと家再興の為にも、高卒後すぐ三年間、酒田の同業に丁稚奉公して呉れるならば、亡父に対しこれに過ぐる

報恩事は無く有難い。だが決して強制ではない。自分で得心のゆく選択をと。

百雷が轟き、地は激震した。兄弟、家族愛はいと易けれど、人類愛。他を生かすべく自己犠牲。アガベ―の実践。——。

コレツテ、歴代ローマ法王が宿願とし説き来つて尚成らず、国連事務総長ハマーショルドは頭を抱え、大岡越前守に専任させられて果たして、の世界平和に跨る一大命題ジャナイノ。何でニキビ輩にこんな高等難題を突然に。再び頭が割れそうになった。そして名状し難い何かが潮の如く満ちて来ていた。

己の為の欲望の全てを抑え、古武士然とし辛酸に耐え、一家の守護神たりし父の理不尽様の言は、大いなる力に変容、人生の分水嶺に立たされた十七歳生の胸を抉り、その底に眠る誰もが有する純なる心の現出の凝視を迫っていた。そして死ぬまでに寄せる思考の波が一挙、高速湧出かとの自問自答の激闘の末、一生不変の信念を自ら掴み得たと確信する至福の高揚感に高二生は圧倒されていた。寸時の後、それ迄は眩しく仰ぐばかりであった父の目を正視しつつ、諾と応じた。

「お前、そげすぐ決めて呉れで、後がら悔やまねだろが。」

自分は父の言と姿にたつた今、士

<p>加藤法律事務所</p> <p>弁護士 加藤 次郎 (62回)</p> <p>〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号 新橋駅前ビル1号館6階604号室 TEL 03 (5537) 5501~5502 FAX 03 (5537) 5503</p>	<p>「仕訳の実際555例」(実業之日本社)11改訂版</p> <p>公認会計士 榎本 堯 (63回) 税理士</p> <p>〒180-0022 東京都武蔵野市境5-7-2-102 TEL 0422(52)2253 FAX 0422(56)0730 http://www.enomoto-cpa.musashino.tokyo.jp</p>
<p>村田 敏 法律事務所</p> <p>弁護士 村田 敏 (昭和45年卒業)</p> <p>東京弁護士会 外国人の権利委員会委員長(元) 法政大学等非常勤講師</p> <p>160-0022 東京都新宿区新宿1丁目5番4号 YKBマイクガーデン802号 TEL 03-3352-5941 FAX 03-3352-6049</p>	<p>山中税務会計事務所</p> <p>税理士 山中 昊吉 (61回) 社会保険労務士</p> <p>東京都港区芝五丁目20番7-303号 ☎(03)3798-5895(代) FAX(03)3798-5896</p>

<p>小野 寺 医 院</p> <p>院長 小野寺 俊直 (63回)</p> <p>〒997-0404 山形県東田川郡朝日村大字下名川宇落合228 TEL 0235(53)3115</p>	<p>◆整形外科◆リウマチ科◆リハビリテーション科</p> <p>上野 整形外科</p> <p>院長 上野 欣一 (昭和46年卒)</p> <p>診療時間 午前8:45~12:30 午後2:00~ 6:00 (受付は30分前までにお願ひします。)</p> <p>休 診 日 日曜日・祝日ノ土曜日午後 住 診 応 需</p> <p>鶴岡市日吉町10-43 (駅より徒歩5分) ☎(0235) 25-7676</p>
<p>寒河江法律事務所</p> <p>さ が え た か よ し 弁護士 寒河江 孝 允 (昭和38年)</p> <p>〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-7-2 TEL (03)3502-0882 UBEビル5階(首相官邸南) FAX (03)3502-0880</p>	<p>坂元税務会計事務所</p> <p>税理士 坂元 鐵平 (62回)</p> <p>事務所 〒228-0011 神奈川県座間市相武台3丁目4721番地13 三協相武台駅前ハイツ207号</p> <p>電話 046(253)6049(代) FAX 046(256)7594 自宅 〒228-0012 神奈川県座間市広野台1-3-12 電話 046(255)2051</p>

ぼ三十年。その間、多くの人に出逢い、多くの事件に出会って来たが、一つのテーマの取材で、訪ねた国々の全てが厳寒のさ中にあったというのは珍しい。モンゴルの寒さは覚悟していたものの、今年のソウルは大雪に見舞われ、モンゴル用の防寒具を用意していなかったら、凍えてしまうところだった。

取材の目的は、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)を逃れて中国に渡った難民達が、モンゴルや、東南アジアや、シベリヤや、遠くはヨーロッパを経由して韓国にたどり着くまでの苦難に満ちた途方もない旅路を解明することだった。ソウルに着いて二日間、寒さがつのるばかりでやむ様子も無い雪の中を、同僚の韓国人記者の運転で「二院」と呼ばれる脱北者の教育施設を訪ねた。雪が降りやまず途中で引き返そうとも思ったが、何とか到着した時には、施設の一部は停電で暖房も消え、電話も不通で、自動販売機から飲み物も買えない状態だった。この施設には、私自身が二年前に中朝国境で出会い、自由への脱出に手を貸した北朝鮮難民孤児の兄妹が収容されていた。無事韓国に着いてから会うのはこれで二度目だった。二人とひとしきり話し合った後、「喉が渇き、お腹がベコベコだ」と言うと、彼らは機転を効かせて、

寮長にかけあってくれた。北朝鮮からの狙撃手や二重スパイの可能性を考えた最高警護施設「二院」は、部外者が立ち入ることはできないが、子供達が内部の食堂に案内してくれたため、餃子や、キムチや辛麺を食べることができた。北朝鮮で親を失い、飢えて中朝国境の豆満江を命懸けで越えたこの子供達は、他人のひもじさにとっても敏感だ。この日の夕方何とかソウルに帰着した頃には、確か気温は零下二十度ぐらいまで下がっていたと思う。

次の目的地モンゴルのウランバートルでは、「ジンギスカン・ホテル」という地元では高級ホテルに滞在した。旧体制のなごりで、ロビーや食堂がやけにだだっ広い。夕方到着して、食堂が閉まる前に胃袋を満たそうと駆けつけたが、客は米国人の学者らしき女性ぐらいでがらんとしている。美味しいボルシチを食べたかったが、品切れだという。肉料理を注文して、最後に熱いコーヒーを飲みたかったが、食堂と厨房も離れているのか総じて冷めて出てくるのが残念だった。ちなみにこのホテルのロビーの気温は零下だった。翌日、政府関係者と市内の日本料理店で会食があった。焼き鳥や肉豆腐などと一緒に熱燗を頼んだのだが、テーブルに運ばれてくるまでにはほぼ冷酒に変身してい

た。ホテルに戻ろうと屋外に出た時の気温が零下三十八度だった。

中国では東北部を動きまわっていたが、黒龍江省の朝鮮族の寒村では、北朝鮮から逃れた難民「花嫁」の家に泊めてもらっていた。二部屋だけの貧しく簡素な家だが、オンドルでぽかぽかと暖かい。財布をはたいて鶏をつぶし、ブルゴギや、干しイカ料理や、自家製のキムチ等をふるまってくれた。オンドルのぬくもりと彼等の暖かさに気持ちちがゆるんでしまったのか、私はごろんと横になって寝込んでしまった。なにやら懐かしい匂いで目が醒めてぼんやりとした頭でかまどの方を見たら、彼女が大きな釜からおこげをヘラですくっているところだった。もうたまらず塩をまぶして食べさせてもらったが、ご飯は本当はこんな味だった、と痛く感激してしまった。こうした朝鮮族の村では、トイレは少し離れた小屋だが、戸外の気温は零下二十八度だった。

中朝国境の川のあたりを歩いて仕事を終え、延吉から大連に到着した日は旧正月、春節の始まりだった。夜中の空港からホテルに向かう町並みはイルミネーションで輝き爆竹の音が響いていた。ホテルの部屋に入りカーテンを開け、この旅で初めてほっと一息ついた。

 ココ 世界中から良いものを シネシグループ スーパーマーケット (株)主婦の店 鶴岡店 取締役社長 大月 一郎 (59回卒) 本部・鶴岡市大字布目字中通39-2 TEL 0235 (22) 2683 毎省の際のお買物は地元のスーパーマーケット主婦の店でぜひどうぞ。	みつけてあげます 貴女の知らない 貴女のおしよん いん 貴女のおしよん いん ★婦人服一般・慶事 ★仏事・引出物 ハリウッド化粧品・ブティック 〒0235-24-8181 鶴岡市日出1-3-4 (FAX) 0235-22-8185 代表 石川 諄子
贈って喜ばれもらってうれしい商品券 鶴岡・酒田・庄内一円の加盟店でご利用できますので便利です。卒業・入学祝・快気祝・仏事、また各種大会の商品としても最適です。 庄内信販 代表取締役 富樫 誠次 (64回卒) 鶴岡市本町1-3-43 TEL 0235-22-3247	かけがえのない水 英知と技術でリサイクル 東北環境開発株式会社 取締役社長 木村 有為 専務取締役 泉 川 智子 本社／鶴岡市字下清水字打越2-1 ☎(0235) 24-3110(代)

が違ふようだ。私などが日本を出てマネジメントをやる、どうしても日本人を頼りたくなる気持ちがある。在日米国人の国際性がすぐに露呈してしまうのだ。一方米国人の方はすべてを国際市場に求めていると言う、逆の国際性を持っているように思われる。理科や文科の人材、スポーツ選手、建築家、食物等々、すべてのものを広く世界中から受け入れて、国内の人材と同様な感覚で競争させることを日常化しているようなところがある。もちろん入国管理事務所が、誰でも受け入れてくれる訳ではない。米国に受け入れられる条件は、何かすぐれた才能を持っていることのようなのだ。

米国のゴルフ場でたまたまいっしょだった日本の方は、こともなげに言った。「移民局が3ヶ月で永住権を発行してくれましてね」私は「丁度いい方ですか、と思わず聞いたところ、いや、ロケットのエンジン関係です」とのこと。多分彼は、日本の頭脳の一人に違いない。一瞬、ラーメン屋の私は「ミサイルからラーメンまで」という言葉を思い出して苦笑した。

米国には、日本スポーツ界によくある外人枠というばかげた規制はない。彼等は本当に強く才能のある人間を世界のどこからでも受け入れ、本当の競争、競技に対してだけ対価

を支払うと言う生活感がある。この感覚が、今の米国を支えているのかも知れない。そして米国の競争社会のフィルターを無事通過し、米国人に定着した事柄は、猛烈な速度で今度には世界中に伝播し、多くの人に感動を与える仕組みのように思う。

ラスベガスの今日の繁栄の源泉は、世界規模で集められた建築家同士の競争、世界中のプロスポーツの賭け事を瞬時で分析する情報システム開発の競争、勝手な動きをする数万人の動きを把握する映像システム開発、万事をスムーズに進めるための従業員マニュアル開発、結局各自のホテルが陳腐化しないため、激しい情報技術の競争を強いられることになる。そしてそれをターゲットに、世界中から売り込みが殺到しているのを見るのが妥当だろう。そこには米国の「金」が、凝縮されているように感じるし、ウォールストリートの金融街とどこか酷似している。

厳寒地のおこげ

今年正月から出張続きたった。雑煮やお屠蘇やうたたねを楽しむ暇もなく、一月三日に福岡へ出張。一月六日から三週間余り取材で、韓

高山 秀子

(第73回)

国、モンゴル、そして中国東北部で過ごした。何といつても今回の旅は、寒さが道連れだった。

何の因果か報道の世界に入ってほ

公認会計士 広瀬 信幸 (58回) 事務所 千代田区神田神保町3-6-4-403 TEL 03-3556-2252 FAX 03-3556-2253 自 宅 横浜市青葉区新石川2-16-21 E-mail : noble-h@246.ne.jp	池田法律税務事務所 弁護士 池田 徳博 (74回) 鶴岡市本町三丁目2番3号 TEL 0235 (25) 8810・FAX 0235 (25) 8811
山口法律事務所 弁護士 山口 新一 (76回) 〒997-0044 山形県鶴岡市新海町17番68号 鶴岡法務総合ビル2F TEL 0235-25-9799 FAX 0235-25-9796	株式会社 遠藤会計事務所 代表取締役所長 税理士 遠藤 研一 (76回卒) 事務所 〒997-0042 山形県鶴岡市新形町21番20号 電話 0235-22-2884(代表) FAX 0235-24-3846

仕事の共通言語

五十嵐 丕

(第73回)

化学会社に勤務し、農薬の安全性に係わる仕事に従事して二十六年になります。二十十年は年に五回程度、主としてヨーロッパ、アメリカに出張しています。農薬については、安全性の評価方法や各国の法的規制についてのハーモニゼーションが進んでいることが、海外の仕事が多い理由の二因です。

農薬は研究所で発見されてから販売が許可されるまで約十年の期間と、安全性の試験だけでも二十億円以上の費用が掛ります。農薬は、長期間に亘る毒性試験等に基づいて、農薬の使用への安全性、食品を通じての消費者への安全性が調べられます。さらに、自然環境中の農薬の挙動と生物への影響の有無を評価するなど、ありとあらゆるリスクと想定される問題点を解決しなければなりません。安全性を証明するには、科学に立脚した説明が要求されます。仕事の共通の言語はまさにサイエンス、科学的根拠です。

農薬は海外市場も視野にいて開発するため、海外の受託機関で安全性試験を実施することが多く、また

海外の大手化学会社と提携して、共同開発もしています。各国政府当局との直接打ち合わせの機会も出てきます。

高校時代には、思いもつかなかった海外の人々との出会いがあります。現在世界の主要国で使用されているある農薬の第一歩は一九八九年春に、ベルサイユ宮殿の近くにあるフランス農務省を訪問し、女性のベテラン審査官の否定的見解を覆すことができたことでした。同行のフランス人の自宅の庭で、交渉成功の報告書を作成した時の興奮は今でも忘れることができません。一九九七年には、フィンランド当局を訪問し、午前中は厚生省、午後には環境庁のそれぞれの女性審査官の背の高さにはただだ驚きに宿題の回答内容を説明して了承を得て、わずか一日のヘルシンキ潜在で日本に帰国しました。一方、試験機関や提携会社の研究者との付き合いは、十年を超える長いものになります。正確な実験を実施してくれるイギリスの友人達。実験内容をいかにアメリカEPAに理解しやすい報告書に仕上げるかを、徹底的に指

導してくれたアメリカ人の親切なおじさん。アメリカEPAの登録許可を祝って、メキシコ湾に面する観光地キーウエストでの彼の同僚も加えてのパーティーは楽しいものになりました。仕事の共通の言語はサイエンスという世界で、好きな仕事でできた幸せを感じました。逆に、出張の際の食事やパーティーの席での仕事以外に話す内容のない教養の無さや、片言の英語での会話を思い出す度に、いつも自己嫌悪に陥ってしまいます。

今回の東京鶴翔同窓会のテーマ「翔べ」に因んで、今年一月下旬に同僚とヨーロッパを飛び回った出張を紹介いたします。日曜日に成田を立ち、同日夕方フランクフルトに着。月曜日の午前中にフランクフルトから車で二時間かけて移動。自然環境中に生息する昆虫への農薬の影響を調べる試験機関を訪問し、午後六時まで会議。車で約二時間かけて次の訪問地へ移動。火曜日は八時半から十二時半まで提携会社と懸案事項の打ち合わせ。フランクフルト空港へ車で一時間半かけて移動。夕方、マンチェスター空港に到着。ハロゲートのホテル到着は午後七時。次の訪問先のコンサルタント二人を加えて夕食。水曜日は九時から十二時半までコンサルタ

ント会社で会議。午後ハロゲートからケンブリッジまで電車で移動。夕方ホテル着。木曜は九時から午後四時まで、安全性受託機関で仕事の進捗確認。夕方、同社の研究所の近くのホテルまで車で二時間かけて移動。午後七時半よりバブで研究員を交えて食事。金曜日は九時から午後

五時まで試験の計画と結果について討議。午後五時半に最寄りの駅からロンドンへ。ホテルには午後八時着。土曜日は疲れて外出はせず、ホテルで報告書の作成。夕方ヒースロー空港より帰国。日曜夕方自宅に自宅着。月曜から平常勤務。数年前に比べ、体力の回復に時間が……。

小さな国からみた

小さな国

高嶋 勝平

(第73回)

日常のマンネリからの脱出には旅をするのがよいとよく言われる。それまでの自分を包む文化から開放され、異空間の文化との接触によつてもたらされる刺激がよい方向に作用するからなのだろうか。極短時間での事であるから、実際のところコミュニケーション不足であったとしても、それ以上に何となく意志伝達できたことに対する満足感のよいようなものが、作用するからかもしれない。

しかしながら長時間異文化と接触する場合は、そう簡単に事は進まない。ましてや外国で暮らすことになると、旅はいいものだ、などと言っている暇はない。

一九八〇年から五年余り、オラン

ダのアムステルダムで暮らしたことがある。自分の人生のほぼ十分の一に相当する時間である。

日本人がオランダに対して一般的に抱いている印象は、江戸徳川の鎖国時代に西洋の香りをもたらす唯一の国だったこともあって、オランダ人のほとんどが親日家なのであるというものである。

ところが事実上は少しばかり異なっている。

オランダから見た日本は、極東にある小さな島国であり、世界の交易国のひとつに過ぎないのである。日本から見れば、江戸徳川の時代は唯一の交易国であったかも知れないが、オランダから見れば、日本はONET OF THE EMなのである。

さらには第二次世界大戦の最中における、日本軍によるオランダ人捕虜に行われた行為に対する感情的なしこりも残っている。

第二次世界大戦といえば、ドイツに対するオランダ人の感情はかなり複雑なものがある。

オランダ語はあまりできないもののドイツ語には不自由のない人がオランダ語は低地ドイツ語に分類されるくらいドイツ語と似ている、ドイツ語でオランダ人に話しかけようものなら、怒りの混じった目で蔑視されてしまうだろう。

こうした歴史的背景や国民感情を知らずに、強い思い込みだけで接触すると、大きなショックを受けかねない。彼此の感情間にはかなり大きな温度差があることを、よく理解しておかなければならない。

そうはいっても外国で暮らすことは、緊張が強えられることばかりではない。日本からの旅行者とは少しばかり異なるものの、旅行者になることもできる。その時ばかりは異国で暮らす住人ではなく、旅行者になっているから、いささか気は楽である。

近隣のベルギー、ドイツはもとより、少し足を延ばせばスイス、デンマーク、フランスといったところには車での移動が可能である。なかに

<p>孟宗と梅林の里 湯田川温泉 日観連 たみや旅館</p> <p>代表取締役社長 今野悦郎 (66回) 常務取締役 今野睦子 (71回 旧姓 沢井) 〒997-0752 鶴岡市大字湯田川乙15 TEL (0235) 35-3111代 FAX (0235) 35-3116</p>	<p>孟宗と神楽の里 山頭火の宿 素敵な庭園風呂 旬の味覚自慢</p> <p>政府登録 国際観光旅館 ホテル みやご</p> <p>代表取締役 宮田五郎左エ門 (54回 卒) 〒997-0752 鶴岡市湯田川温泉 TEL 0235-35-2666 FAX 0235-35-3710</p>
<p>とれたての地物、魚貝の味</p> <p>網元丸長旅館</p> <p>佐藤洋介 (63回)</p> <p>山形県温海町鼠ヶ関 電話 0235-44-2012</p>	<p>監視用超小型ビデオカメラのパイオニア</p> <p>★銀行、スーパーなど、お店の防犯に最適。 ★駐車場等監視の夜間撮影に適したカメラも好評中。</p> <p>代表取締役 五十嵐 重美 (61回)</p> <p>Waterc® ワテック株式会社</p> <p>本社/鶴岡市大字大寺字日本国254-2 ☎(0235) 23-4400 ■山形工場(東根市) ☎0237-43-6530代 ■台湾支社(台北市) ☎02-2523-5906</p>

<p>TURKEN 創造新時代</p> <p>ISO 9001 鶴岡建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 本間敏英 (69回 卒)</p> <p>本社 ●山形県鶴岡市東町5番41号 〒997-0033 Tel: 0235-22-4511代 Fax: 0235-24-3240</p>	<p>総合建設業 笠原建設工業株式会社</p> <p>代表取締役 笠原 俊雄 (63回)</p> <p>住所 鶴岡市日枝島居上18 TEL 0235-22-0781 FAX 0235-24-2678</p>
<p>同窓会誌・自分誌等・印刷承ります</p> <p>つるいん 鶴岡印刷株式会社</p> <p>本社 ●〒997-0028 山形県鶴岡市山王町14-24 TEL 0235(22)3060代 FAX 0235(24)8698 http://www.tsuruin.co.jp E-mail: tsuimubu@tsuruin.co.jp E-mail: tsuyoubu@tsuruin.co.jp 酒田印刷 ●〒998-0859 山形県酒田市大町6-16 大蔵ビル1F TEL 0234(22)4833代 FAX 0234(22)4834</p>	<p>庄内の特産品おまかせください…… —— 庄内米・だだちゃ豆・漬物 etc. ——</p> <p>株式会社 両国屋</p> <p>都内にアンテナショップ計画中!!</p> <p>東京事務所 東京都渋谷区上原3-13-16 TEL 03-3467-6471 FAX 03-3467-6440</p> <p>本社 藤島町藤浪1丁目82-1 ☎(0120)037073 FAX (0235)64-5770</p>

一昨年十月、同窓会関係者が在任館に集まり実行委員会が開催され、委員長を引き受けることとなりました。適任の同期生が多数出席したが、議論している時間的な余裕がなく柄にもなくその役目を仰せつかった次第です。

十月の第一回から開催の当月まで、九回の実行委員会を三十五名全員で

第30回東京鶴翔 同窓会を終えて



池田 惇二
(62回卒)

協議してきました。その間、部会長の招集による分科会が数回開かれ、適切な同窓会運営に資して頂きました。

私も62回、72回の卒業生が中心となる委員会でしたが、必要に応じて協力を頂いた会員有志の助言もあり、盛會裡に同窓会当日のスケジュールをこなすことができました。

当日は二五〇名を超える会員の参加があり、年一回の同窓会を盛り上げて頂き、主催者として感銘を受けた一日でありました。

もちろん、実行委員各位の協力体制が当日の盛會に繋がったものですが、八ヶ月の長い期間部会長のリードの下委員各位の知識、経験、才能を発揮され分科会ごとにテーマを処理して頂いた様子を拝見し、改めて各位へお礼を申し上げる次第であります。

私も61回卒の先輩のご意見を参考に準備に着手し、総会当日に漕ぎ着けることができましたが、その

にも旨く嵌まり、わが意を得たりであったが、それが原稿の遅れに繋がった。所在が掴まらないのである。結果的に当初、予定した執筆者とは自分を含め、やや異なることになってしまった。会議を終えた後、諏訪氏は帝国ホテルのロビーで知人に声を掛けられ、五十嵐と荒田は新宿に飲みに出た。そこに偶然、星野茂(76回)が入って来た。日本史の星野昇先生のご子息である。一月二十七日、銚子で開いた雪見酒のメンバーである。また、強かに飲む羽目になった。ギャンブルだけであったラスベガスは、今、ショウビジネスのメッカでもあり、最新情報の発信サイトでも

もある。まさに翔んでる街に成長した。しかし、私にとってはギャンブルの街でいい。到着の日も現地時間で午前二時まで興じていた。日本時間に合わせれば徹夜で翌日の午後七時頃まで起きていたことになる。十ドルで遊んでいたのだから安いものだ。翌日はどこにも行かず没頭した。夕食を挟んで午前十時から深夜二時まで、それでも損害は僅か二十ドル。だが、出発の朝、三十分程の空き時間を利用して、懲りもせず再び遊戯場に向かった。あつという間に二百ドルの損失である。

さて、「米の流通」に関わる仕事を職業とする者にとって、米の輸出能

力のある合衆国を業務上で旅することが物議を醸し出す時代が存在した。日本が米の市場を開鎖していた二十年前、米穀店主を連れて合衆国を訪れようとした時、その筋から強力な指導を受けた経験がある。「米の視察」から小売店の視察に変更して出国しなければならなかった。今や米の市場も開放され、誰もが簡単に海外に出かける時代になっている。二月二十八日、筆者の大学生の娘も美術館巡りと称し欧州に跳ねて行った。一方、新宿の隠微なネオンを餌に飲んでいて三人のうち五十嵐と荒田は「大江戸線」に乗って家路についていた。

は現地人並にイタリ、スペインあたりまで車で行く強者もいる。

そんな旅行先で美味しいご馳走などにありつけたときは、海外勤務していたよかった、と感激することもある。

そして偶然の出会いも楽しい。オランダには何しろ全国各地から出てきた日本人が、およそ五〇〇人ぐらい集まってきた。

そんな中で、当時鶴翔会ができるほど鶴南の卒業生がオランダで暮らしているのを知った時は、驚きでもあり喜びでもあった。

オランダ日本人学校で教鞭をとっていた須田まささん(八十一回生)。

その夫君の貞夫氏(八十回生)、三井物産勤務の菅原等氏(七十七回生)、それに私と、さらには在蘭ではなかったがベルギーにいた佐藤一夫氏(八十一回生)である。

それぞれの家族も加わった在蘭鶴翔会は年次総会どころか年に数度の総会を開催していた。

そこでは海外の緊張感は一つもなかった。

その後それぞれが別々に帰国して、住まいも東京、鶴岡、和歌山といったように散りぢりになってしまったが、何時の日かもう一度一堂に会したいものである。

合衆国の光と影

荒田 盈一
(第73回)

今年の一月二十七日、東京は久しぶりの大雪に見舞われた。雪見酒と酒落れるにはいささか強烈な風雪であったが、酒を飲むことだけを目的にして設営された私的な会合に出席するため、銚子まで出かけた。痛飲の限りを尽くし、翌二十八日、酒気を帯びたまま成田に直行、所用で合衆国へ飛び立った。ポートルランドに

着いた。合衆国は十七年振りの三度目。ロスアンゼルスとラスベガスも三度目。今回の訪米は業務上の任務から開放された旅であり、精神的には遊びの旅であった。

砂漠の真ん中に人工的に造られ、ギャンブル都市であったラスベガスは全く別の街に生まれ変わり、十七年前の面影を思い出せなかった。砂漠がブル付の住宅地に生まれ変わり、

前に宿泊したホテルの場所を探すことも不可能であった。一方、ロスアンゼルスは同じホテルに宿泊したこともあり、十七年前の記憶が蘇った。窓から見える街は「十七年前の同じ街」と目を見晴らせる程に変貌した街が混在していた。同じ街は衰退であり、好景気とされている合衆国の繁栄の裏に存在する「落差」に困惑した。

その「落差」とは合衆国とメキシコの格差と同意語である。陸伝いに国境を越える初体験を目的にバスでメキシコに渡った。川を渡れば天国と地獄、この事態が改善されない限り、メキシコから合衆国への人口移動は永遠に続くであろう。しかし、人件費の人的差別を抛る所にする繁栄は何時か終焉を迎える筈である。青い海と木々に囲まれたサンディエゴ、砂塵が舞うデヴィアナの現実は学窓の国際関係論など吹き飛ばす。

本同窓会の会報の編集会議は帰国後としていたことから二月十四日、帝国ホテルのロビーに諏訪浩(63回)、五十嵐正(73回)と荒田(73回)が参集。席上、合衆国に飛んだ日、五十嵐が英国から帰国、出国ロビーと帰国ロビーで擦れ違っていたことに気が付いた。また、諏訪氏のお嬢さんが英国に留学していることも知った。そこで、73回に与えられた会報の内容を「海外」と決めた。同窓会のテーマ

Sales Marketing.
Services & Supports.
Aji-com.

山形県県政アドバイザー

株式会社 味の素コミュニケーションズ

代表取締役社長

大龍 幸克 (63回)

東京都中央区八丁堀 2-27-10 〒104-0032
Tel. 03-3555-5611 Fax. 03-3555-5632

自動車シートカバー・イスカバー・カーテン・医療用シート

注文製作専門

大成商會

代表者 **本間章介** (58回卒)

〒104-0042 中央区入船1-4-3 電話 3551-1895代 FAX 3551-1936

フジテレビ・サンケイグループのコンピュータソフト開発を担う

株式会社 フジミック

代表取締役社長 **大澤弘之** (61回卒・3年2組)

〒140-0002 東京都品川区東品川3-32-42(フジテレビ別館)
TEL 03(5495)1111(代表)
E-Mail: ohsawa@fujimic.fujisankei-g.co.jp

Salir 大都會の森林浴

低濃度のオゾンで衛生管理と光触媒反応でマイナスイオン効果による健康管理

	定 価	幹施価格
8穴	118,000	77,000
4穴	55,000	34,400
2穴	27,000	19,000

東京都千代田区神田須田町1丁目23番地2
株式会社 ビルケアビジネス
電話 (03) 5256-9903(直通) FAX (03) 5256-9922

●パンフレット・申込み用紙請求先
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-2 4F
日立グループ 株式会社 ビルケアビジネス事業開発部
TEL 03-5256-9903 FAX 03-5256-9922

スイス高級腕時計CYMA シーマ特別幹施のご案内

機能美あふれるフォルムが美しいスイスの名門シーマ

希望小売価格 8万~11万8千円 → 特別価格 19,800円(税込)

●パンフレット・申込み用紙請求先
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-2 4F
日立グループ 株式会社 ビルケアビジネス事業開発部
TEL 03-5256-9903 FAX 03-5256-9922

東京鶴翔同窓会総会のご盛會をお祝い申し上げます。

株式会社 ホノマ電機

代表取締役 **本間 俊三**

〒228-0802 相模原市上鶴間1-12-1 TEL 042-746-1616(代)
昭和38年 鶴工卒 中央大学(理) 温海

Network Solution With
Computer & Communication

NEC 販売特約店 **東洋通信工業株式会社**

代表取締役社長 **本 宮 誠**
主 幹 **本 間 隆** (63回卒)
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5
TEL 03-3537-1025

第30回 東京鶴翔同窓会総会 出席者一覧

●二來賓(同席者)	鶴岡南高等学校 校長	佐藤英治	鶴岡同窓會 會長	笹原 信一郎	鶴岡同窓會 事務局長	齋藤勝郎	首都鶴岡同窓 會長	水口とし	鶴岡東京事務所 所長	上原 正明	紫樹會 副會長	米山 昌士	紫樹會 常任理事	小松 忠嗣	紫樹會 事務局代理	森 博志	東京電報會 副會長	野口 和雄	鶴岡同窓會 副委員長	閑山同窓會 部長	小林利三	鶴岡同窓會 埼玉縣支部 委員長	鈴木龍雄	如松同窓會東京支部 支部長	横尾 真木子	如松同窓會東京支部 常任理事	鈴木順子	如松同窓會東京支部 支部長	菅原勝子	如松同窓會東京支部 事務局長	田卷和子	・出席者	33回広瀬定治	39回渡会正三	42回高橋敬道				
田中 浩	43回五十嵐 忠	44回鈴木弘二	47回佐藤安男	鈴木重臣	高木正雄	平田秀雄	宮村春雄	渡会弘義	菅原藤夫	青柳恵一	高木 有	旅川正美	中村信雄	菅原隆輔	土岐良次	齋藤吉郎	寒河江辰巳	平野成士	成田辰美	山本昌美	阿部久吾	今間孝生	渡部政次	渡部俊雄	植木清哉	鈴木雄三	丸谷錦吾	菅原良雄	梅津迪子	奥田隆男	窪田健三	齋藤健三	石橋幹雄	工藤泰久	佐藤成彰	佐藤順一	富樫宏道		
60回齋藤文夫	佐久間美津雄	白幡義博	豊満郁子	野澤良治	前橋 秀	村上 章	茂田 勲	上田義宗	五十嵐直子	池田初子	小田里子	折原 亮	菊田晴子	佐藤正吾	佐藤美恵子	相馬和彦	竹内 節	武田好子	富樫志津子	中村 静	長谷川佳則	村井三千代	村木恢宣	山中吳吉	渡辺美枝子	阿部芳勝	飯塚 進	五十嵐隆二	池下豊子	池田惇二	磯野国夫	福泉一彦	大川重一	大谷樹澄	奥田文夫	奥山文夫	加藤有倫	加藤次郎	
岸田光祐	河野シヅ子	小林愛子	坂田順一	坂元謙平	佐藤 勤	佐藤 隆	佐藤敏直	佐藤玲子	菅原敬子	鈴木 清	鈴木美奈	高橋 徹	竹屋 勲	田澤政一	多田成子	小佐部祐次	高橋 進	猪俣義敏	岸井 進	富樫 薫	長崎種子	芳賀三夫	廣瀬木芽	福田貴美	三浦五八	渡辺甚作	五十嵐 信	石塚知久美	板垣善博	大滝恒雄	岡田恒佑	加藤金一	鎌田喜子	桜井文子	諏訪百美子	重山貞夫	外池蓮子	平田 宏	
本間光二	本間隆	水原邦隆	御橋廣真	森谷栄太郎	佐久間正二	佐藤忠伸	佐藤敏弘	高山弘	島海元晴	難波茂丸	宮本慶子	友澤万里子	足達富子	阿部文治	齋藤正昭	佐藤直昭	渡部 明	安野正紀	加賀山忠男	洪谷和明	富樫 正	佐藤 誠	今間洋一	本間敬士	渡部良男	阿倍良男	松島 邦	工藤雅子	佐藤和敏	菅原英二	齋藤健輔	板垣健輔	伊藤文子	尾形文子	上林 治	小林啓二	菅原 司	地主忠夫	中村 浩
芳賀俊郎	福原正和	三輪 進	山口秀隆	相馬省記	安達昌夫	五十嵐喜治	石崎庄子	稲船幸純	工藤純一	小鷹光雄	齋藤豊三	佐藤室一	高橋恵子	伊達由美子	成田仙一	成瀬 誠	原田裕子	船岡嘉彦	三浦信次	山口弘士	山口久	渡部政貴	渡会信祐	平山静夫	笹原研	青島時子	杉浦幸夫	梅津準士	80回本間明道	82回荒井幸雄	85回大泉守正	清水	福原南津子	難波 電	河野 晃	島川武	篠崎 実		

小池 梧
八木 格
頼高 美枝
片岡 勝規
笹原 泰
佐藤 聖子
佐藤 大介
本間 梨江
本間 敦子
菅原 三郎
櫻井 孝子
押井 均
清野 邦明
佐藤 篤
鈴木 智久
菅原 豊道
阿部 彩人
佐藤 拓
阿部 巧
後藤 裕也
長谷川 智之
尾川 勝洋
阿部 耕平
城戸 豊和
黒坂 新也
安藤 大地
齋藤 幸文

おかげさまで、130年の時を刻むことが出来ました。

SINCE 實明堂 1871

本店スタジオ：鶴岡市山王町10-54 (TEL: 0235-22-0004)
東京第一ホテル鶴岡4F写真室 (TEL: 0235-24-8474)

新潟、長岡、三条、新発田、鶴岡、酒田

東京・稲城市 TEL&FAX 042-377-8822

〒221-0834 横浜市神奈川区台町10-20-701
TEL 045-324-6119

いなどの苦情を心配しましたが、高い層ビルであり晴天であれば江戸を睥睨するのも一興と会場を定めました。反面、会場への誘導に円滑を欠いたため面もありましたし、例年の悩みである来賓のご紹介は時間の制約のために、お名前の通読にとどめざるを得ず、この解決方法は後送りとなりました。

最後になりましたが、第31回東京鶴翔同窓会総会の盛会を祈念いたします。

代表取締役
野沢良治